

平成29年度 埼玉県推奨図書(諮問図書)一覧表

	部門別	書名	著者名等	発行所	価格(本体)	コード
1	乳幼児	ぺんぎんたいそう	齋藤楨／作	福音館書店	¥800	978-4-8340-8253-1
2	乳幼児	かげはどこ	木坂 涼／ぶん 辻 恵子／え	福音館書店	¥900	978-4-8340-8279-1
3	乳幼児	すずめくん どこで ごはん たべるの? マルシャークの詩より	たしろちさと／ぶん・え	福音館書店	¥900	978-4-8340-8246-3
4	乳幼児	みつつけてくれる?	松田奈那子／作	あかね書房	¥1,400	978-4-251-09891-7
5	乳幼児	みんなにゴリラ	高島那生／作	ポプラ社	¥980	978-4-591-15055-9
6	小学校低学年	ぼくのいいとこ	スティーヴ・メツガー／ぶん ジャナン・ケイン／え いいむつみ／やく	少年写真新聞社	¥1,900	978-4-87981-585-9
7	小学校低学年	トルーシー・トルトルとトラ	ヘレン・ステイーヴンズ／作 ふしみみさを／訳	BL出版	¥1,500	978-4-7764-0761-4
8	小学校低学年	ともだちのつくりかた	たかいよしかず／さく	大日本図書	¥1,400	978-4-477-03032-6
9	小学校低学年	おしろの ばん人と ガレスピー	ベンジャミン・エルキン／ぶん ジェームズ・ドーハーティ／え 小宮由／訳	大日本図書	¥1,400	978-4-477-03070-8
10	小学校低学年	せなかのともだち	萩原弓佳／作 洞野志保／絵	PHP研究所	¥1,100	978-4-569-78560-8
11	小学校中学年	ウミガメものがたり	鈴木まもる／作・絵	童心社	¥1,500	978-4-494-00520-8
12	小学校中学年	300年まえから伝わる とびきりおいしいデザート	エミリー・ジェンキンス／文 ソフィー・ブラッコール／絵 横山和江／訳	あすなる書房	¥1,600	978-4-7515-2815-0
13	小学校中学年	逆転! ドッジボール	三輪裕子／作 石山さやか／絵	あかね書房	¥1,100	978-4-251-04425-9
14	小学校中学年	夜やってくる動物のお医者さん	高橋うらら／文	フレーベル館	¥1,200	978-4-577-04459-9
15	小学校中学年	ぼくのつばめ絵日記	深山さくら／作 宮尾和孝／絵	フレーベル館	¥1,200	978-4-577-04475-9
16	小学校高学年	わたしは樹木のお医者さん	石井誠治／著	くもん出版	¥1,400	978-4-7743-2477-7
17	小学校高学年	あかりさん、どこへ行くの?	近藤尚子／作 江頭路子／絵	フレーベル館	¥1,300	978-4-577-04461-2
18	小学校高学年	坂の上の図書館	池田ゆみる／作 羽尻利門／絵	さ・え・ら書房	¥1,300	978-4-378-01551-4
19	小学校高学年	「水辺の楽校」の所くん	本田有明／著	PHP研究所	¥1,300	978-4-569-78555-4
20	小学校高学年	神隠しの教室	山本悦子／作 丸山ゆき／絵	童心社	¥1,600	978-4-494-02049-2
21	中学校	タイムボックス	アンドリ・S. マグナソン／著 野沢佳織／訳	NHK出版	¥1,600	978-4-14-005681-3
22	中学校	夜間中学へようこそ	山本悦子／著	岩崎書店	¥1,500	978-4-265-05788-7
23	中学校	青空のかけら	S・E・デュラント／作 杉田七重／訳	鈴木出版	¥1,600	978-4-7902-3318-3
24	中学校	サッカーなら、どんな障がいも超えられる	江橋よしのり／著	講談社	¥1,300	978-4-06-378718-4
25	中学校	ぼくとベルさん 友だちは発明王	フィリップ・ロイ／著 櫛田理絵／訳	PHP研究所	¥1,400	978-4-569-78623-0
26	高校・青年	翻訳できない世界のことば	エラ・フランシス・サンダース／著 前田まゆみ／訳	創元社	¥1,600	978-4-422-70104-2
27	高校・青年	透明な力を 災後の子どもたち	河北新報社／編	東京書籍	¥1,300	978-4-487-81047-5
28	高校・青年	花が咲くとき	乾ルカ／著	祥伝社	¥1,600	978-4-396-63490-2
29	高校・青年	あしたの君へ	柚月裕子／著	文藝春秋	¥1,500	978-4-16-390442-9
30	高校・青年	本バスめぐりん。	大崎梢／著	東京創元社	¥1,300	978-4-488-02767-4

平成29年度埼玉県諮問図書審査票

(乳幼児)

諮問番号	図書名等	内 容	認定基準	推奨の有無
1510	ペンぎんたいそう 福音館書店 齋藤 槇／作	ペンギン親子が息をすったり、吐いたり、首を伸ばしたり、縮めたり、体操をしているような様子を描いた絵本。ペンギンの動きが魅力的で、子どもたちが動きを真似て体操ができる。	(5) (9) (11)	
		選定理由		
		子どもたちが動きを真似て体操ができる。乳幼児の視野の広さにあった小さな本で、小さな子でもめくりやすいボードブック(厚紙の本)である。絵はシンプルではっきりしていて、視力が発達していない乳幼児にもわかりやすい。言葉も内容もよく練られていて、親子で楽しめる。		
1511	かげはどこ 福音館書店 木坂 涼／ぶん 辻 恵子／え	ぼくが、ぼくの影を確認する絵本。滑り台の上では遠くにいる影、水の上の「ゆらゆら」の影、階段で「かっくんかっくん」の影などいろいろな場所で影を確かめる。実際の生活の中で、いろいろな影を確認して楽しむことができる。	(5) (6) (9)	
		選定理由		
		絵がシンプルで、影がくっきりわかりやすい。色々な場所で自分の影を見つめることを想像すると楽しくなる。小さな子向けの科学の導入的要素もある絵本である。		
1512	すずめくん どこで ごはん たべる の？ マルシャーク の詩より 福音館書店 たしろちさと／ぶん・ え	主人公のスズメが動物園で動物たちのごはんをつまみ食いする話。カバのところでサツマイモ、キツネのところでくだもの、ライオンのところでお肉をもらい、ぞうのところで砂遊び、ゴリラのところでひとやすみ。動物園の様子がわかり、大きいカバから、小さなスズメまで、生き生きと描かれている。	(1) (5) (9)	
		選定理由		
		スズメが動物園で動物たちのごはんをつまみ食いする様子が生き生きと描かれている。動物園の様子もわかる。ロシアの詩だが舞台が日本の動物園になっていて子供たちも親しみが持てる。		
1513	みつめてくれる？ あかね書房 松田奈那子／作	お母さんが赤ちゃんをつれて帰ってくる日、はなちゃんは「まだおねえちゃんじゃないもん」とかくれてしまう。庭の動物たちに話すうち、不安が軽くなり、嬉しい気持ちも出てくる。主人公のはなちゃんとおねこのクロはくっきりと描かれていてわかりやすい。赤ちゃんが生まれ、お姉ちゃんになる女の子の気持ちに寄り添った絵本。	(1) (4) (9)	
		選定理由		
		おねえちゃんになるはなちゃんの胸の内が描かれている。これからお母さんに甘えられるかな、お母さんはかわいいと言ってくれるかな…。でもおねえちゃんになることもうれしい気持ちもある。はなちゃんの成長にほほえましくなる。絵も水彩と色鉛筆、油性の画材や版画のような技法を使っており、優しい色合いが話とよくあっている。		
1514	みんなにゴリラ ポプラ社 高島那生／作	ページをめくると、穴あきのしかけで、おこっているママ、お出かけ前のパパ、犬のエルも、みんながゴリラに変身する絵本。はっきりした色使いで、リズムの良い言葉が添えられていて、子どもから大人まで楽しめる。	(6) (9) (11)	
		選定理由		
		ページをめくると登場人物がみんなゴリラに変身してしまう仕掛け絵本である。次は誰がゴリラになってしまうのか、先がとても楽しみになる。はっきりした色使いで描かれており、背景色もページごとに違うなど工夫がみられる。言葉のリズムもよく、子供から大人まで楽しめる。		

平成29年度埼玉県諮問図書審査票

(小学校低学年)

諮問番号	図書名等	内 容	認定基準	推奨の有無
1515	少年写真新聞社 スティーヴ・メツガー／ぶん ジャナン・ケイン／え いしいむ つみ／やく	ぼくのいいところはどこかな? 「ねばりづよい」ところ、「きちんとする」ところ、「やさしい」ところ…。13のいいところを教えてください。自分のいいところはどこなのを考えたり、前向きな行動のよさに気づき、自分もやってみようと考えられる本。	(2)	
		選定理由 13の行動「しりたがる」「きめたらやる」「やさしい」…などの言葉の選び方が素晴らしい。その言葉が的確で分かり易い言葉で綴られているので、子どもたちがその「言葉」の意味をおさえることにも有意な本。前向きな行動を認識し、理解することに役立つ。本書のあとがきでは「保護者のみなさんへ」のメッセージもあり、さらに深く考えさせることに役立つヒントが4つ提案されている。親子で感想を話し合うこともできる本である。	(3)	(6)
1516	BL出版 ヘレン・スティーヴンズ／作 ふしみみさを／訳	トルーシーのパパは大泥棒。「どろぼうはダメなんだよ」とトルーシーは言うが、パパはちっとも聞いてくれない。動物園でパパはペンギンのえさやゾウのおやつなどを盗んでいくがその様子をすべて見ていたトラがあることを…。泥棒をやめさせるために奮闘するトルーシーが描かれている。	(4)	
		選定理由 「ト」がたくさん使われている書名からも、ユーモラスで楽しそうな本書の内容が推察される。優しそうで頼もしいトラとかわいらしい女の子の表紙にも心を惹かれ手に取りたくなる。大泥棒の父親が盗んだものを返そうと奮闘する娘。一筋縄ではいかない父。そんなトルーシーを助けてくれるトラが絶妙の役割を演じる。大泥棒の父親とそんな父親を愛する娘の姿がほほえましい。	(6)	(11)
1517	大日本図書 たかいよしかず／さく	周りにはいろいろな子がいる。げんきな子、いっしょうけんめいな子、しんせつな子、おこりんぼうな子、じまんする子…。どんな子と友達になりたいか。友達になるにはどうしたらよいか。友達づくりに大切なことは何か…。友達や家族と一緒に読みたくなる絵本。	(3)	
		選定理由 友達になるためにはどのように行動すればよいか、ダメだったら次はどうするか。友だちのつくりかたを考えられる。また、友達づくりに自分を知ること大切だということに気づかせてくれる。フローチャートやワークシートもあり、学校で実際に活用することもできる。	(6)	(10)
1518	大日本図書 ベンジャミン・エルキン／ぶん ジェームズ・ドーハーティ／え 小宮由／訳	世界中の誰よりも目がよい3兄弟の噂を聞きつけた王様は、3人をお城の番人にした。そして、その番人をだました者には、「ごほうび」を与えるというおふれを出した。何千人もが挑戦したが、みな失敗。そんな難しい問題に、賢いガレスピーが挑む。まじめで偉そうな顔をしている番人を出し抜く作戦とは。ガレスピーの知恵が、一休さんのとんちを彷彿とさせるお話。	(4)	
		選定理由 想像力を掻き立てられる。ガレスピーの奇想天外な発想に脱帽する。いつ、どのようにガレスピーが行動するのか。ワクワクしながら、読み進むことができる。知恵とユーモアにあふれた本。	(6)	(11)
1519	PHP研究所 萩原弓佳／作 洞野志保／絵	怒りん坊のハリネズミが、とてもいじわるなヒツジの背中の上に落ちてしまい、ヒツジの毛とハリネズミの針がからまってとれなくなる。この状況を解決するためには、誰かにやさしくお願いするしかない。しかし、いつも偉そうにしている2匹にはとても難しいことだった。やがて弱っていくハリネズミ。そこで2匹が考えたこととは…。	(1)	
		選定理由 困ったヒツジとハリネズミを誰も助けてくれない。それは頼み方があまりに横柄だから。やがて互いを思いやることや本当の優しさに気づく2匹の変容とともに、本書を読んだ子どもたちも大切なことに気づくだろう。	(4)	(10)

平成29年度埼玉県諮問図書審査票

(小学校中学年)

諮問番号	図書名等	内 容	認定基準	推奨の有無
1520	ウミガメものがたり 童心社	誰もいない夏の砂浜で、ウミガメのお母さんは卵を産むとそのまま砂をかけて海に戻ってしまう。卵をねらう人や動物、産まれたばかりの赤ちゃんに待ち受けている様々な困難、大きくなってからも人間が捨てたごみを食べたり網に絡まってしまうことも。そして20年後、成長したウミガメは再び日本の海岸を目指す。ウミガメの成長を見守るような気持ちで読み進められる一方で、人間が自然に与える影響についても考えさせられる。	(1) (2) (5)	
	鈴木まもる／作・絵	選定理由 ウミガメについて詳しく知ることができ、美しい海で成長していくウミガメを見守るように読み進められる。ウミガメを守ろうとする人達がいる一方で、人が捨てたごみがウミガメを危険にさらしているという現実も描かれ、自然と人間の共存について考えさせられる。		
1521	300年まえから伝わる とびきりおいしいデザート あすなる書房	ブラックベリー・フルというデザート作りを通して、300年前と200年前と100年前と現代の4つの時代の変遷を描いている。読み手の子ども達は、繰り返しの話の中に時代ごとの生活の変化や人の心の共通点を見つけていくことができる。イラストも繊細で美しく、時代の変遷が捉えやすい。200年前のお話は、奴隷制度やあってはならない人種差別について考えるきっかけもあたえてくれる。	(2) (6) (8)	
	エミリー・ジェンキンス／文 ソフィー・ブラッコール／絵 横山和江／訳	選定理由 4つの時代の4つの家族の物語。親子でブラックベリー・フルを作って食べるという出来事が、時代ごとの生活の変化や人々の心の共通点を通して描かれている。200年前のアメリカの物語では奴隷の親子の様子が描かれるが、現代ではさまざまな人種の人たちが楽しく集う様子が描かれており、それぞれの時代背景としての奴隷制度や人種問題などについても考えるきっかけを与えてくれる。		
1522	逆転！ドッジボール あかね書房	「鉄平と健人の2人に逆らったり、従わなかったりすると、大変なことになる。」小学校4年生の陽太のクラスは怖がって、みんな文句も言えない。「こんなのおかしい。」と考える陽太。カメを大切に飼っている武士ちゃんと友だちになった陽太は、ドッジボール対決を成功させ、この状況を打破しようと奮闘する。	(3) (4) (6)	
	三輪裕子／作 石山さやか／絵	選定理由 4年生になった陽太は、保育園時代からの宿敵2人と同じクラスになってしまう。2人に対して誰も文句を言えないことがおかしいと感じた陽太がドッジボール対決にいどみ、この状況を打破しようと奮闘する陽太の行動力と知恵と勇気に引き込まれる。		
1523	夜やってくる動物のお医者さん フレーベル館	梅原英輝先生は、動物のお医者さん。病院で待っている先生ではなくて、治療するための道具や薬がいっぱい入ったカバンを持ってかけつけてくれる夜間往診専門のお医者さんだ。どんな動物がどんな家族と梅原先生の到着を待っているのか、内容も写真も読み手をひきつける。	(1) (5) (10)	
	高橋うらら／文	選定理由 獣医師である梅原英輝先生について書いたノンフィクション。動物を大切に思う家族の様子や梅原先生の思いが表現されている。動物の命の大切さを改めて感じることができる本である。		
1524	ぼくのつばめ絵日記 フレーベル館	小学校4年生に進級する春に、雄太は父親の仕事の都合で引っ越すことになる。窓から見えたつばめが北上するように北へとやってきた雄太は、町で見つけたつばめに興味を持ち観察日記をつけ始める。町で出会った人々や新しくできた友達との交流を通して、雄太の成長が描かれる。	(4) (5) (7)	
	深山さくら／作 宮尾和孝／絵	選定理由 新しくできた友達との交流を通して雄太の成長が描かれている。幼馴染みとのけんか別れに思い悩んだり、新しい土地になかなかなじめずにいたりする姿に共感しながら読み進めることができる。イラストや雄太の描いたつばめの観察日記も児童の関心をひきつける。さわやかな読後感である。		

平成29年度埼玉県諮問図書審査票

(小学校高学年)

諮問番号	図書名等	内 容	認定基準	推奨の有無
1525	わたしは樹木のお医者さん くもん出版 石井誠治／著	樹木医とはどういうものなのか、なぜこの職業を選んだのかなどが書かれており、こんな職業もあるんだと興味深く読める。樹木の生命力の不思議や樹木が人間の暮らしや生き方に影響を与えていることも書かれている。特にサクラの木を取り上げ、サクラの木の見方や樹木医の仕事について知ることができる。	(1) (5) (7)	
		選定理由 樹木医という職業について知るとともに、樹木医になるまでの筆者の生き方や考え方を街や校庭にある樹木を通して知ることができる。日本人にとって一番身近にある「サクラ」の木を通して、サクラに寄せる人々の思いをくみ取りながら樹木をどうやって生かしていくかを考えている筆者の姿勢に共感できる。樹木の生命力の不思議さや人間の生活との関わりについても考えさせられる本である。		
1526	あかりさん、どこへ行くの？ フレーベル館 近藤尚子／作 江頭路子／絵	大好きだった祖母のあかりさんの様子がおかしいことに気づくタケン。同じ事をしゃべる、どこかへ行ってしまふ、タケンのことを忘れてしまふ。タケンはそんなあかりさんととまどい避けるようになる。しかし、親友のケンタや転入生のメイにあかりさんのことを打ち明け、悩みを聞いてもらううちに、認知症の進むあかりさんとどのように接していったらいいか見だしていく。	(3) (4) (10)	
		選定理由 高齢化社会を迎え、認知症の老人が増えている現代。家族はどう関わっていくか考えさせられる一冊。家族はどう受け入れるか、家族だけでは介護が難しい現実をどう克服していくか。認知症になっても家族への愛は変わらない、忘れても何度でも友達になる。そう受け入れるまでのタケンの葛藤を描く。タケンが迷い立ち止まりながらも前を向き、家族と歩む姿に涙があふれる感動的な物語。		
1527	坂の上の図書館 さ・え・ら書房 池田ゆみる／作 羽尻利門／絵	母と2人で生活するのが困難で、自立支援センターに身を寄せた5年生の春菜。近くの市民図書館で絵本から借り始め、読書の楽しさにはまっていく。素敵な本との出会い、友人や図書館司書とのふれあいを通して、図書リーダーをつとめるまでに成長する。将来の夢さえ思いつかなかった春菜が図書館司書になりたいという夢を持つまでになる姿は読んでいて応援したくなる。	(1) (2) (3)	
		選定理由 生活困難で学校にもあまり通えなかった春菜が、読書の楽しさを知り、図書館司書になりたいと夢を持つまでに変わっていく姿がすばらしい。文中に出てくる本がなつかしく読んでみたくなる。読書ってやっぱりいいものだ！思わせてくれる本である。		
1528	「水辺の楽校」の所くん PHP研究所 本田有明／著	学校では自分のよさを出せない所くん。授業中も苦手な教科は寝てしまうほどだ。だけど水辺の楽校では、幼稚園の子どもたちに「生き物クイズ」を出して、自然について教えてあげられるほど生き生きと活躍している。その両方の姿を見て、所くんのよさをクラスのみんなにもわかってほしいと思うべく、2人の友情を描いた物語。	(3) (5) (6)	
		選定理由 印象があまり良くない友達の本当の姿を知った主人公が、クラスのみんなに伝える努力をする姿がよい。所くんと友情を深めながら、自然のすばらしさを知り、自分も成長していくべく。展開もテンポよく、2人のこれからを想像させる本である。		
1529	神隠しの教室 童心社 山本悦子／作 丸山ゆき／絵	「この学校からいなくなりたい。」その願いを抱いた5人の子供たちが現実の世界からいなくなった。いじめ、虐待、ネグレクトといったそれぞれの悩みが徐々に明らかになっていく中、違う空間に閉じこめられた5人の中に友情が育ち、少しずつ変わっていく。古い物には魂が宿る。古い学校の魂が子供たちを救おうとくしたのか？強くなって5人は現実の世界に戻ってくる。不思議だが考えさせられる物語。	(1) (4) (10)	
		選定理由 それぞれに悩みを抱える5人が不思議な体験を通して成長する物語。いなくなった5人を必死で探す養護教諭の早苗先生をはじめとする学校の先生たちや子供を心配する母親の愛情に心打たれる。不思議な物語だが様々なことを考えさせられ、学ばせてくれる。		

平成29年度埼玉県諮問図書審査票

(中学校)

諮問番号	図書名等	内 容	認定基準	推奨の有無
1530	タイムボックス NHK出版	中に入ると時間を止め、都合の悪い時間を節約できる魔法の箱「タイムボックス」を手に入れた人類は、先を争って利用し、やがて世界から人類は消えた。近未来と昔話が混ざり合った不思議な世界観。先が気になりどんどん読める。時間を止めて、永遠の幸せを手に入れることが本当に幸せなことなのかを問いかける物語。	(4)	
	アンドリ・S. マグナン ／著 野沢佳織 ／訳	選定理由 時間を止めて永遠の命を得ることが本当の幸せなのだろうか。物質に恵まれた現代社会に生きる我々に、「本当の豊かさ」とは何かを問いかけている。近未来と昔話を織り交ぜた不思議な世界観を構成し、読者の想像力をかきたてる。本書は豊かな人間性の涵養を図ることのできる一書である。	(6)	(11)
1531	夜間中学へようこそ 岩崎書店	中1の優奈は、祖母の付き添いで一緒に通ううちに「夜間中学」が大好きになっていく。いろいろな理由で学校に通えなかった人たちが学校生活を楽しみ、一生懸命学ぶ姿に「学校っていいな」と気づかされる心温まる物語。	(3)	
	山本悦子／著	選定理由 主人公の中学生らしい考え方や問題を抱えて夜間中学に通う生徒の心理を描き、共感を誘う。いじめや不登校・外国人等、いろいろな背景を背負った人物が織りなす物語である。生涯学習の観点からも「学ぶ意義」を考えさせられる内容となっている。心温まるさわやかな読後感である。	(4)	(10)
1532	青空のかけら 鈴木出版	スキリー・ハウスという児童養護施設でのお話。1980年代のイギリスが舞台となっている。身寄りのない姉弟ミラとザックの一番の願いは「家族」ができること。スキリー・ハウスでクラス2人に養子の話や引き取りたいという申し出は全くなかったのだが、ある夏にチャンスが訪れる…。	(4)	
	S・E・デュラント／作 杉田七重／訳	選定理由 1980年代のイギリスが舞台となっている。時代背景に関心を寄せることは、豊かな人間性の涵養につながる。また、児童福祉の観点からも、また人権擁護の観点からも児童養護施設の子どもたちに対する正しい理解は必須である。苦しみを抱えながらも、姉弟が助け合いながら希望を見出していく姿が胸に迫る。悲壮感だけを取り上げることなく、ハッピーエンドで登場人物の前向きな姿が勇気を与えてくれる。	(8)	(11)
1533	サッカーなら、どんな障がいも超えられる 講談社	心身に様々な障がいを抱えながらも、サッカーを通して、勇気と感動と希望を与えてくれる一書。障がい者サッカーはこれほどまでに可能性に満ちているのか！直面する苦難に前向きに挑戦する姿勢がダイナミックに伝わる。	(2)	
	江橋よしのり／著	選定理由 心身に様々な障がいを抱えながらも、サッカーを通して、勇気と感動を与えてくれる一書。障がい者サッカーはこれほどまでに可能性に満ちているのかと、驚きを感じた。1人1人のエピソードもしっかり整っており、障がい故に直面する苦難にも前向きにチャレンジする姿勢がストレートに伝わってくる。スポーツが多くの人に勇気を与え、希望をもたらすものだとすることを再認識させられる。	(6)	(10)
1534	ぼくとベルさん 友だちは発明王 PHP研究所	学習に障がいがあるエディと発明家ベルの心温まる交流を描く作品。周囲からなかなか理解されないエディの才能をベルが見出し、ありのままの姿を肯定する。そして、ベルとの出会いがエディを大きく変えていく。	(4)	
	フィリップ・ロイ／著 櫛田理絵／訳	選定理由 エディとベルの交流に心温まる。フィクションだが歴史上の人物も登場し、内容も豊かで温かな交流が描かれている。共生社会の構築に向けて、理解が深まる一書といえる。読後感の良い物語であった。	(6)	(10)

平成29年度埼玉県諮問図書審査票

(高校・青年)

諮問番号	図書名等	内 容	認定基準	推奨の有無
1535	翻訳できない世界のことば	旅する筆者が世界のどこかで聞いた何気ない言葉。それは翻訳できなくとも、どれも心にスッと入ってくる“ことばの力”を持っている。国境を越えて、世界の誰かの思いを受け止めることができたような幸福感を与えてくれる一冊。	(6) (8) (11)	
	創元社 エラ・フランス・サンダース／著 前田まゆみ／訳	選定理由 世界にある多様な言語。国が違えば言葉は通じないと思込んでいる私たち。しかし、この本に掲載された言葉が表現しようとしている事柄は、実は、世界共通の感性や感情だということに気づかせてくれる。言葉の持つ力から世界への眼差しを醸成する一冊だと考える。		
1536	透明な力を 災後の子どもたち	東日本大震災の被災体験を子供の視点で語った新聞レポートの集成である。悲惨な体験や喪失感を持った子供たちが、学校生活や地域活動を通して未来へと歩み出していく成長の記録でもある。同世代の読者に是非読んでほしいノンフィクションである。	(1) (3) (4)	
	東京書籍 河北新報社／編	選定理由 東日本大震災から6年経つが、今なお震災の傷跡は深い。傷つき、悩み、迷いながらも歩みをやめない子どもたちの姿は災後を生きるすべての人々に対するメッセージとなる。前へと進み、自らの手で未来を切り開こうとする子どもたちの姿に感動するルポである。		
1537	花が咲くとき	過去の嫌な出来事から、教室では自分の気配を消して過ごす6年生の「大介」と過去の辛い出来事から憎しみを抱えたままの老人「北海」。くちなしの花が咲いたある夏の日、突然旅に出る北海の後を追う大介。旅の目的とは？旅の終わりに明かされる真実は大介に大きな変化をもたらす。	(4) (6) (10)	
	祥伝社 乾ルカ／著	選定理由 級友から受けたいやがらせから学校では目立たないよう気配を消して生活する大介が北海との旅を通して前向きに成長していく。また、憎しみの心で固く閉ざされた北海の心も大介との旅を通して溶けてゆく。旅先で出会う人々のやさしさにも胸を打たれる。		
1538	あしたの君へ	「カンポちゃん」と呼ばれる家裁調査官補が、修習生として扱うさまざまな案件。その案件の裏には悩みを抱えるそれぞれの家族のかたちがある。その一つ一つに誠実に向き合い奮闘するカンポちゃんが成長する姿が描かれている。	(2) (3) (11)	
	文藝春秋 柚月裕子／著	選定理由 家庭裁判所調査官の仕事を知ることができる本でもある。調査官補という立場の修習生の目を通すことで、読者は事件の裏にある様々な人間ドラマにも思い至るのではないだろうか。社会の有り様に目を向けるきっかけとなっしてほしい。		
1539	本バスめぐりん。	定年退職後、移動図書館の運転手になった「テルさん」と図書館司書の「ウメちゃん」は、巡回先で様々な謎に巻き込まれてしまう。巡回バスを利用する地域の人々との掛け合いがほのぼのとしたタッチで描かれている。	(3) (4) (7)	
	東京創元社 大崎梢／著	選定理由 移動図書館の運転手のテルさんと図書館司書のウメちゃんと、巡回先で出会った利用者との交流が温かく描かれている。母を亡くし、この地に引っ越してきた女子中学生に対する地域の方々のやさしさに感動する。また、高齢化が進む団地の住民が抱える悩みなど、現代社会における問題についても考えさせられる。		